

「旅」上質主義 ワールド航空サービスの旅づくり

これまでも、これからも、いつまでも。
生涯の心に残る楽しい感動的な旅を。

旅に心の潤いを求めるお客様へ。私たちは1971年の創業以来、お客様の満足を最優先に考え、常に新たな挑戦を続けてきました。これが私たちの歩んできた道であり、これからも変わることはございません。お客様の期待に応えるために、私たちは多様なサービスと独自の旅づくりを続けて参りました。安心で楽しく、そして満足度の高い旅を提供するために、私たちが大切にしている理念と取り組みをホームページや印刷物でご紹介しています。私たちの旅づくりは、これまでも、これからも、いつまでも、お客様の心に寄り添い続けます。

ワールド航空サービスの「サステイナブルな旅づくり」にご協力ください

これまで海外旅行にご参加いただいたお客様に、資料発送時にお送りしていましたA4サイズのプラスチック製ファイルや、スーツケースのタグを環境配慮への取り組みとして、これまでのプラスチック製から素材を見直しました。環境負荷を低減する植物由来樹脂を一部配合したフィルムを使用。破れにくく、水をはじく素材です。印刷はベジタブルインクを使用。小型化し、2つ折りで旅のしおり等の持ち運びにもぴったりのサイズにしました。

●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立

旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日前に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

(1)パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。

①運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合は二つノミクラス、鉄道は普通車を利用します。)

②送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金

③宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)

④食事の料金(機内食は除く。)及び税・サービス料金

⑤添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用

⑥観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等

⑦航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金

⑧団体行動時の必要な心付け

⑨旅行日程中の海外の空港税、同様税、同空港利用料

⑩その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの

(2)前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

(1)超超過荷物料金(荷物の重量・容量・個数が超える分について)

(2)個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金

(3)渡航手続関係費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)

(4)お一人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」

(5)日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税

(6)港湾料、政府連絡税等

(7)燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

(1)部屋割りは、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。

また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。

当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。

旅行企画・実施  **ワールド航空サービス**

WEBもどうぞ  [ワールド航空](https://www.wastours.jp) 検索 

TEL : 03-3501-4111

東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリインビル 4階 TEL 100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

TEL : 06-6343-0111

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前3ビル29階 TEL 530-0001 総合旅行業務取扱管理者 柴尾 茂樹

TEL : 052-252-2110

名古屋市中区栄3-14-7 RICCO栄8階 TEL 460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う業者での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号

「ワールド航空サービスの旅づくり」は印刷物でもご用意しています。ツアーやパンフレットとともにご請求ください。なおホームページからもご覧いただけます。私どもの「こだわり」をぜひご一読ください。



WORLD 心に残る高品質な旅 インド東西南北

東京発 2025年11月▶2026年3月出発

- 【北インド】観光寝台列車デカン・オデッセイ号でゆく聖地ベナレスと北インド周遊の旅
- 【北インド】ムガルの絢爛とマハラジャの栄華
- 【中部インド】仏教芸術屈指の世界遺産アジャンタ、エローラとサンチーの旅
- 【南インド】インド最大の遺跡ハンピと黄金のゴア
- 【西インド】注目の西南インド、グジャラートの旅
- 【北インド】8大仏跡をめぐる 大シルクロード紀行 天竺編
- 【東インド】東インド、コルカタとオリッサ紀行
- 【東インド】世界遺産カジランガ国立公園とブラマプトラ川の船旅

歴史をほどき、風土を紐解く。
知と感性が交差する、八つのインドへの旅路。



何度訪ねても新たな発見がある 不思議の国インド

インドの国土面積は、約328万平方メートル（世界7位）と日本の約9倍。

ヒマラヤ山脈周辺は寒冷気候、西北部は砂漠気候を含む乾燥気候、中部・東部は温帯気候、そして南部は熱帯気候と、気候風土の違いが多様な文化を育んできました。各地の特色にクローズアップしてご紹介します。



初めてのインドなら、まずはここから

「インドの名所」と言ってまず思い浮かぶのは「タージ・マハル」でしょう。首都デリー、古都アグラ、マハラジャの暮らすジャイプールが形成する「ゴールデン・トライアングル」は、北インド観光の白眉。インド伝統とイスラム、さらにはヨーロッパスタイルが融合した名建築が各所で見られます。弊社では連泊を中心に、各地を丹念に巡る行程としています。

今年のラインナップには、好評の「大シルクロード紀行」のインド編として、仏陀の足跡をたどる新コースや、観光寝台列車「デカン・オデッセイ号」で巡る北インドの鉄道旅もご用意しました。

【北インドを訪ねる旅】

- ・観光寝台車デカン・オデッセイ号でゆく 聖地ベナレスと北インド周遊の旅（3ページ）
- ・ムガールの絢爛とマハラジャの栄華（5ページ）
- ・8大仏跡をめぐる 大シルクロード紀行 天竺編（13ページ）



古代仏教の源流、仏教美術を堪能 世界遺産アジャンタ

地図を俯瞰したときに存在感を放つ「デカン高原」。亜大陸の中部から南部にまたがる逆三角形の巨大な岩盤には紀元前から各地で、途方もない歳月をかけて数多くの石窟寺院が造られてきました。インドに現存する石窟寺院は1000を超えますが、中でも仏教美術という点において最高峰といえるのが「アジャンタ」です。硬質の玄武岩でできた寺院は長い歳月の中朽ちることなく、また鮮やかな壁画も多くが現存。ヒンドゥー教、ムガール帝国だけではなく、仏教の源流に出会える場所です。

【中部インドを訪ねる旅】

- ・仏教芸術屈指の世界遺産 アジャンタ、エローラとサーンチーの旅（7ページ）



多彩な民族と、インドの原風景に出会う場所

東インドは、かつて英領期の首都が置かれたコルカタ（旧カルカッタ）を中心とした、ネパール、ブータン、バングラデシュ、ミャンマーとの国境を接する、民族色豊かな地域です。インド東北7州のひとつ、アッサムを訪ねる旅が新登場。ゆるやかな渓谷を滔々と流れるブラマプトラ川をゆくクルーズ船にて、川岸の素朴な村々を訪問。観光化されていないこの地域では、「素顔のインド」、「インドの原風景」に出会えます。一方、ベンガル湾に面するオリッサ州も少数民族が多く暮らす地域。どこか日本のなつかしさも感じられる、北とも南とも違う民族色にあふれた場所です。

【東インドを訪ねる旅】

- ・東インド コルカタとオリッサ紀行（15ページ）
- ・世界遺産カジランガ国立公園とブラマプトラ川の船旅（17ページ）



インダス文明都城址、驚きの階段井戸と色鮮やかなテキスタイル

インド独立の父マハトマ・ガンディーや、現首相モディを輩出した、西部のグジャラート。砂漠性気候のこの地域には、古代文明のひとつインダス文明期の貴重な都城址が見つかっています。インダス黎明期の貴重な歴史遺産、中世期の巨大な井戸建築など、歴史的な側面だけでなく、グジャラートがさらに面白いのは現在も活き活きとした少数民族の色鮮やかな刺繡文化です。魅惑のグジャラート、インド再訪の方におすすめです。

【西インドを訪ねる旅】

- ・注目の西南インド グジャラートの旅（11ページ）



中世ヒンドゥー教王朝の白眉ハンピを訪ねて

同じ「インド」でも、北と南でこんなにも違うものか。北インドから見ると、別の国と思えるほど、民族、言語、歴史文化がすべて異なるのが、南インドです。一口に「南インド」といってもとても広大で、このたびは弊社でこれまでご案内してきた南インド周遊コースでもご案内できなかった、カルナータカとゴアを訪ねます。カルナータカはハンピに代表されるような、中世ヒンドゥー王朝の都市、寺院遺跡にあふれ、そのダイナミックな建築に圧倒されます。一方、ポルトガル風情感じるゴアも訪問し、これまでと異なる雰囲気の「南インド」を皆様にご提案いたします。

【南インドを訪ねる旅】

- ・インド最大の遺跡ハンピと黄金のゴア（9ページ）

8つの世界遺産に加え、知られざる見どころも訪問 観光寝台列車デカン・オデッセイ号でゆく 聖地ベナレスと北インド周遊の旅 11日間



レストランでは洋食・インド料理のコースを堪能(イメージ)



車内のバーでくつろぎの時間も



各客室にシャワー・トイレが付いた優雅なつくり(イメージ)

ラウンジで優雅なひとときをお過ごしください



シェフが工夫を凝らしたお食事を車内にて(イメージ)

インドを代表する観光寝台列車「デカン・オデッセイ」でゆく旅

ツアープランナーより

日本でも近年は「四季島」や「ななつ星」など、豪華なクルーズトレインが人気となり、高い評価を得ています。ヨーロッパのオリエント急行や南アフリカのブルートレインなど、世界の憧れの列車に対抗するかのように鉄道大国インドでも、観光寝台列車が登場しました。2004年デビューの「デカン・オデッセイ」がその代表格です。ワールドでは、2008年にデカン・オデッセイを利用したツアーを実施し、これまでに400名以上のご参加をいただきました。デカン・オデッセイはコロナ禍のリノベーションを終えて、見事に復活を遂げました。徹底したホスピタリティや車内サービスは大変好評で、また乗りたいというリピーターのお声も多くいただいております。欧米の富裕層からも高い支持を得て、大変な人気を博しておりますが、このたび1本限定でキャビンを確保することができました。コースは、インド観光のハイライト的存在のアグラ、ジャイプール、ベナレスなどに加えて、あまり訪れることがないインド平原中部の魅力的な町々を訪ねるコースです。インドは国土があまりに広大で、各地に多くの見どころが点在しているため、長距離のバス移動であったり、早朝の航空機を駆使しての行程になってしまいがちですが、観光寝台列車デカン・オデッセイに7泊8日して、快適に宿泊しながらのご旅行です。インド旅行の新しい旅のスタイルとしてお楽しみください。

インドが誇る豪華観光列車「デカン・オデッセイ号」

鉄道大国インドが誇るデカン・オデッセイ号は、落ち着いた濃紺の車体に黄金のラインがひときわ印象的な列車です。2004年1月にデビュー。マハラシュトラ州(ムンバイが州都のインド中西部州)の政府が旅行会社と契約を結んで運営している、いわば公営の観光寝台列車です。運行当初は西インドのマハラシュトラ州がおもな行先でしたが、今では様々なルートが組まれ、インドのハイライトの旅に出かけられます。快適な鉄道を利用し、北インド周遊の旅をお楽しみください。

デカン・オデッセイ号が愛される5つの魅力

- 1車両わずか4室。全室トイレ・シャワー付き。
- お食事は洋食、インド料理などの日替わりコース・メニュー。※食事は前菜、スープ、メイン、デザートが、すべてチヨイスメニューです。主に昼食は、市内の高級ホテル内レストランでのビュッフェとなります。
- 旅や客室のお手伝いをするバトラー(執事)制度。
- バーラウンジ車両やスパ車両、ライブラリー車両など、公共スペースも充実。
- 乗客だけが楽しめる各地での特別歓迎プログラム。

デカン・オデッセイ号の車両編成

- デラックス・スイートキャビン 10両(1車両4室)
- ダイニング車両 2両 ■ バーラウンジ車両
- エステ・スパ車両 ■ 特別講義や会議用車両
- その他、スタッフ用3車両(乗車人数により車両数が異なる場合がございます)



※都市間を列車で移動できることがデカン・オデッセイの旅の利点ですが、夜間走行の際は揺れることがございます。

北インドを代表する8つの世界遺産と、このツアーならではの訪問地

北インドにある世界遺産で、すぐに連想されるのはアグラのタージ・マハル、アンベール城などマハラジャの宮殿の多いジャイプール、そして、首都デリーのクトゥブ・ミナール等々でしょう。これら北インドのゴールデン・トライアングルにある主要な見どころとともに、このツアーでは、聖なる大河ガangesが流れる聖地ベナレス、あまり訪れることがないベンガル・タイガーの保護区や官能的なレリーフで知られる世界遺産カジュラホの寺院群、さらには世界遺産暫定リストに入っているデカン高原中央部のオルチャなども訪問。観光寝台列車を利用したツアーならではの無駄のない行程で、8つの世界遺産を見逃せない訪問地を網羅します。

かつてのマハラジャの狩猟地「ランタンボール国立公園」

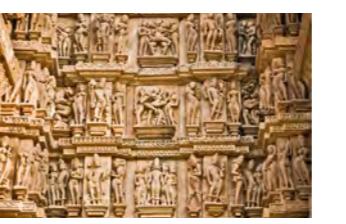
元々はジャイプールのマハラジャの狩猟地で、見ることが難しいとされるベンガル・タイガーの保護区としても知られます(他にも様々な動物が生息していますが、ベンガル・タイガーをはじめ、動物は必ずしもご覧いただけるとは限りません)。



絶滅危惧種のベンガル・タイガー保護区(イメージ)

精巧で芸術性豊かな石彫「世界遺産「カジュラホ遺跡」

10～12世紀のチャンデラ王朝の都カジュラホ。性愛や宗教的なテーマを描いた精巧で芸術的価値の高い彫刻が施された、歴代の王たちの寺院群が見事です。最盛期には80以上の寺院があったといわれ、現在でも20余りが残されています。



官能的な彫刻群、カジュラホのヒンドゥー寺院

独特の建築様式が美しい町「オルチャ」

オルチャは、ヒンドゥーの高カースト集団であるラージプート族のチャンデラ王朝が、16世紀から英国が侵入するまで都を置いた地です。イスラムのムガル王朝と友好関係を結び、ヒンドゥーとイスラム双方の建築様式を兼ね備えた美しい町です。



独特の美しい歴史的建築物が林立するオルチャ

「モダン・インド料理」の名店で愉しむお食事

最終日の昼食は、名店「インディアン・アクセント」にてご用意しました。世界的な旅行雑誌でNO.1のインド料理レストランに選ばれるなど、高い評価を得ています。斬新な創作インド料理をお愉しみください。

利用予定航空会社:エア・インディア、日本航空

ツアーコード:IN071T

集合・日数・出発日

旅行代金

【羽田空港集合・11日間】

エコノミークラス利用

11月28日(金)

ビジネスクラス利用

(お一人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥480,000にて承ります)

お問い合わせください

ビジネスクラス利用区間:日本発着の国際線区間往復(羽田空港～デリー空港間往復)

燃油サーチャージ別途目安:¥19,000:5月1日現在

地方発着追加代金

各支店条件がございますので各支店にお問い合わせください

大阪・名古屋～東京 片道 ¥5,000

各支店条件がございますので各支店にお問い合わせください

福岡・札幌～東京 片道 ¥10,000

各支店条件がございますので各支店にお問い合わせください

日数 訪問地 スケジュール 宿泊地・食事

1 羽田空港11:50発 → 午前、羽田空港よりデリーへ。

着後、空港近郊のホテルにチェックイン。

(デリー空港近郊グルグラム泊) □機

デリー 18:30発 ⇝ 午前、オールド・デリーへ。■レッド・フォート、■ジャマ・モスク(注1)を見学。

昼食は、ムガル料理レストランにてインド伝統料理をご用意しました。午後、■フマユーン廟を訪ねます。

夕刻、デリーの鉄道駅より、観光寝台列車「デカン・オデッセイ号」に乗車。7泊8日の列車の旅で、北インドの珠玉の見どころを訪ねます(注2)。【デカン・オデッセイ泊】(車中泊) 朝昼夕

2 サワイ・マドプール06:35着 ⇝ サワイ・マドプール駅着後、○サワイ・マドプール近郊の村の散策を楽しみます。

午後、かつてのマハラジャの狩猟地、■ランタンボール国立公園へ。4輪駆動車にて、ベンガル・タイガーを探してのドライブ・サファリ(注3)にご案内します。

3 ランタンボール18:00発 ⇝ サワイ・マドプール(注4)を見学します。

午後、オールド・デリーへ。■タージ・マハルを見学します。午後、別名「赤い城」の■アグラ城を訪れます。

(車中泊) 朝昼夕

4 ジャイプール03:00着 ⇝ 終日、「ピンク・シティ」と称される、■ジャイプール旧市街と周辺の観光。郊外の■ラジャスタンの丘陵城塞群のひとつ・アンベール城、■ジャイプール旧市街にて、○風の宮殿、○シティ・パレスへご案内します。

(車中泊) 朝昼夕

5 アグラ02:00着 ⇝ 午前、「世界でも最も美しい廟」と称される、■タージ・マハルを見学します。午後、別名「赤い城」の■アグラ城を訪れます。

(車中泊) 朝昼夕

6 ベナレス08:00着 ⇝ 終日、インド最大のヒンドゥー聖地ベナレスの観光。○旧市街の散策、母なる大河ガanges川の○沐浴場(ガート)をご覧いただけます。夕刻は、ガanges川のボート遊覧にご案内します。

(車中泊) 朝昼夕

7 カジュラホ09:30着 ⇝ 午前、■カジュラホの建造物群の観光。○カンドリヤ・マハーデーヴ寺などを見学します。午後、ミトゥナ像(男女混合彫刻)と呼ばれる精緻な寺院彫刻をご覧いただけます。

(車中泊) 朝昼夕

8 オルチャ04:00着 ⇝ グワリオール(注5)へ

午前、丘陵に建つグワリオール要塞を訪れます。

午後、デカン高原中央部の古都オルチャに戻ります。

着後、ヒンドゥーとイスラム様式が融合した歴史的建造物が多く残る■オルチャの観光。○城塞、○寺院群などへご案内します。

(車中泊) 朝昼夕

9 デリー07:30着 ⇝ 午前、列車はデリー駅に到着。お世話になったスタッフに別れを告げて【デカン・オデッセイ号】より下車します。

その後、デカン最古のミナレット、■クトゥブ・ミナール、○インド門と○大統領官邸を訪ねます。午後、市内の高級ホテル「タージ・マハル」にチェックイン。

(デリー泊) 朝昼夕

10 デリー20:20発 ⇝ 午前、出発までゆっくりとお過ごしください。

午前、○国立博物館を見学します。

昼食は、モダン・インド料理の名店「インディアン・アクセント」にて創作印度料理をお召し上がりいただけます。

夕食は、モダン・インド料理の名店「インディアン・アクセント」にて創作印度料理をお召し上がりいただけます。

(機内泊) 朝昼夕

11 羽田空港07:55着 ⇝ 朝、羽田空港に到着。解散。

機

※日程表の時刻は、羽田空港発着のエア・インディアの利用を想定したものです。他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

※鉄道の各都市の発着時刻は、現地の状況により変更となる場合がございます。

(注1)ジャマ・モスクは、礼拝などによって、入場できない場合がございます。

(注2)デカン・オデッセイでの7泊8日のツアー中は、他の乗客との混乗バスで移動し、観光もワールド航空サービス専用グループではなく、複数の乗客と一緒に見学します。

(注3)ランタンボール国立公園でのドライブ・サファリにおいては、自然条件その他により、動物がご覧いただけない場合もございます。また、国立公園の予約の関係で、パスポートのコピーが必要となりますので、参加申込書とともにお送りください。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食9回、昼食9回、夕食8回 ■添乗員:羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間:入国時6か月以上 ■パスポート査証未使用欄:見開き2ページ以上必要 ■列車でのチップが別途必要となります。市内は、1名様あたり40ドル(1日10ドル)です。 ■査証代実費3,900円(2025年4月現在) ■査証取得手数料:6,600円(税込) ■査証写真:1枚(縦5cm×横5cm)。裏にサインは不要。カラーワ 写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3ヶ月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたもの。 ■パスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル

■デリー空港近郊グルグラム(1日目):ラマダ・バイ・ウインダム・グルグラム

■デリー(9日目):タージ・マハル

ニューデリー市内にある、インド名門ホテルグループ「タージ・ホテルズ・リゾーツ&パレス」による高級ホテルです。2名様1室利用の場合、ベッドはハリウッド・ツインとなります。

※いずれのホテルも、シャワーカーのみの客室となります。

9つの世界遺産へ ムガールの絢爛と マハラジャの栄華 8日間



朝の幻想的なタージ・マハルはぜひご覧いただきたい絶景です（イメージ）※天候によってはご覧いただけない場合もございます

ここに注目。旅のポイント

ヤムナー川の対岸から眺める、こだわりのタージ・マハル

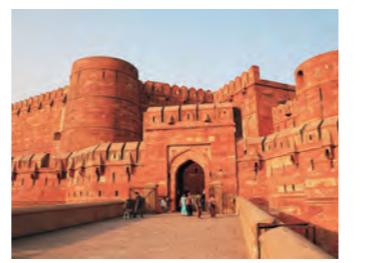
アグラでは、細密で抽象的なイスラム・ペルシャ文化とのびやかで大陸的なインド文化が混じり合い生まれた、まさに「絢爛」と呼ぶにふさわしいムガール文化の粋をご覧いただけます。その代表格である世界遺産タージ・マハルは、ムガ



タージ・マハルは自由時間でゆっくりと見学

アグラ周辺に残るムガール帝国の遺産を訪ねます

アグラに連泊し、周辺を含めてムガール帝国の栄華をご案内します。（現地の天候により、訪問の時間帯を調整、入れ替える場合がございます）



アグラ城（イメージ）



世界遺産ファテープル・シクリ

ツアープランナーより

インドだけでなく、世界的にも有名なイスラム建築として、まず思い浮かぶのがタージ・マハルでしょう。ムガール帝国期に建築された白亜の霊廟は、古都アグラを流れるヤムナー川沿いに佇みます。そのアグラ、首都のあるデリー、そしてマハラジャの暮らすジャイプール…これら三都市は「ゴールデン・トライアングル」と称えられ、中世期にインド亜大陸を席捲したイスラムやヒンドゥー王朝の歴史建築が目白押しです。急ぎ足で1泊ずつでも巡れます、ワールドではそれぞれに連泊。ゆとりを持たせながらも、世界遺産のみならず、町や途上にあるおすすめの観光地へもご案内します。



アグラ城（イメージ）

マハラジャが暮らす「ピンクシティ」ジャイプール

ラージプート族が築き、マハラジャの末裔が今も暮らす町ジャイプール。ピンク色に統一された旧市街は「ピンクシティ」と呼ばれます。かつて各地の藩王として権勢を誇った各地のマハラジャも一種の象徴的的存在になってきてはいますが、



ジャイプールのシンボル、風の宮殿。旧市街「ピンク・シティ」を象徴する建築です（イメージ）



シティ・パレス



世界遺産アンペール城の白眉・ガネーシャ門

ツアーの見どころ

インドの歴史を刻む世界遺産の数々も訪問

ムガール帝国第2代皇帝のフマユーン廟や、奴隸王朝の初代王によるインド最古のイスラム建築クトゥブ・ミナールをはじめ、深い歴史と多様な民族文化を誇るインドの世界遺産を巡ります。



クトゥブ・ミナール



フマユーン廟



アバネリ村のチャンド・バオリ（階段井戸）

アンペール城内にあるレストラン「1135AD」

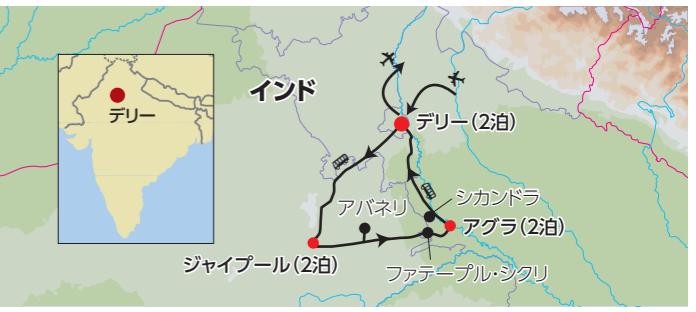
日本でもポピュラーになってきたインド料理。豊富なスパイスと食材には驚かされます。かつての宮殿の部屋をそのまま使った趣のあるレストラン「1135AD」をはじめ、各地でのお食事にもこだわりました。

デリーではムガール帝国の宮廷料理人の子孫が築いた老舗ムガール料理のレストラン「カリーム」や「アジアのベストレストラン50」

にも選定されたモダンな創作インド料理の「インディアン・アカント」でのランチも楽しめます。



世界遺産アンペール城内のレストラン「1135AD」



利用予定航空会社：日本航空、エア・インディア		ツアーコード：IN088T
集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田空港集合・8日間】 2025年11月18日(火), 12月9日(火) 2026年1月13日(火), 2月10日(火) 3月10日(火)	エコノミークラス利用 ¥348,000	ビジネスクラス利用 お問い合わせください
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)		
ピジネスクラス利用区間：国際線全区間（羽田空港→デリー間往復）		
燃油サーチャージ別途目安：¥42,000・4月1日現在		

日本各地から日本航空にて片道¥8,000の追加料金で羽田へ

航空会社の指定および便の指定はできません。その他、付帯条件がございますので、詳しくはお問い合わせください。

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港11:50発 → デリー 17:20着	午前、羽田空港より航空機にてデリーへ。 着後デリーのホテルにチェックイン。【2連泊】（デリー泊）	機□
2	デリー	終日、デリーの観光にご案内します。 午前、団①○レッド・フォート、●ジャマ・マスジッド（モスク）を見学。 ランチは、ムガール料理レストラン「カリーム」にて、本場のローカルなインド料理を。 午後、団②○フマユーン廟、団③●クトゥブ・ミナールを見学ます。（デリー泊）	朝屋夕
3	デリー 08:00発 → ジャイプール 13:30着	午前、専用バスにてデリーよりジャイプールへ。 午後、団④ジャイプール旧市街「ピンク・シティ」を散策。○風の宮殿、●シティ・パレス、団⑤●ジャンタル・マンタルを見学します。 夕刻、ジャイプールのホテルにチェックイン。 【2連泊】（ジャイプール泊）	朝屋夕
4	ジャイプール	午前、団⑥○アンペール城を見学。ランチは、城内の「1135AD」にてご用意しました。 午後、ナルガール城塞からジャイプールの町並みをご覧いただけます。 夜は、ラジャスタン民族舞踊をご覧いただきながらの夕食です。（ジャイプール泊）	朝屋夕
5	ジャイプール08:00発 → アバネリ アグラー18:00着	午前、アグラへ。 途中、ジャイプール近郊のアバネリ村の階段井戸●チャンド・バオリにも立ち寄ります。午後、団⑦○ファテープル・シクリを見学。 夕刻、アグラのホテルにチェックイン。 【2連泊】（アグラ泊）	朝屋夕
6	アグラ (タージ・マハル)	朝、ヤムナー川対岸より、朝日を浴びる団⑧タージ・マハルをご覧ください（注）。●イティマド・ウッダウラ廟も見学します。 午前、団⑨○タージ・マハルへ。自由時間を設けてゆっくりと見学します。 午後、団⑩○アグラ城を訪れます。（アグラ泊）	朝屋夕
7	アグラ08:00発 → シカンドラ デリー 14:00着	午前、高速道路にてデリーへ戻ります。 途中、シカンドラの○アクバル大帝の霊廟を見学します。 デリー着後、遅めのランチをインドモダン料理「インディアン・アクセント」にてお召し上がりください。 夕刻、空港へ。 夜、デリーより航空機にて帰国の途へ。（機中泊）	朝屋機
8	羽田空港07:55着	朝、羽田空港に到着後、解散。	機□□

※日程表の時刻は、羽田空港発着の日本航空の利用を想定したものです。他の航空会社を利用の場合は、発着空港および時刻、日程は異なります。

（注）天候によってはご覧いただけない場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食6回、夕食5回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上 ■パスポート未使用欄：2ページ以上必要 ■査証代実費：3,900円（2025年4月現在） ■査証取得手数料：6,600円（税込） ■査証用写真：1枚（縦5cm×横5cm）。カラー写真、背景は白色。顔の縦（顔からあごまで）サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン（肩から上）がはっきりしたもの。 ■パスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル

- デリー：ザ・ブライド・プラザ・アエロシティ・ホテル
- ジャイプール：サローヴァル・プレミア・ジャイプール
- アグラー：ホテル・ラディソン または グランド・メルキュール・アグラ

※いずれのホテルもシャワーモノの客室となります。また、2名様利用の客室のベッドタイプはハリウッドツインタイプとなります。

3つの仏教関連の世界遺産を訪問 仏教芸術屈指の世界遺産アジャンタ、 エローラとサーンチーの旅 9日間



岩盤を削って造られた石彫石窟のカイラーサナータ寺院(エローラ石窟)(イメージ)

ここに注目。旅のポイント

世界遺産アジャンタ石窟を 日本語解説員とじっくり見学します

断崖をくりぬいて築かれたアジャンタ石窟寺院。全34の石窟にはインドが誇る仏教芸術最高峰の壁画や彫刻が残り、まさに「極上の世界遺産」と呼ぶにふさわしいものです。今回は終日かけて、公開していない石窟を除く主要な石窟を、日本語解説員とともに丹念に巡ります。古代壁画芸術の白眉「蓮華手菩薩像」のある第1窟をはじめ紀元前2世紀からの僧院窟や礼拝窟がそのままの形で残り、古代仏教の僧の生活を垣間見ることができます。硬質な玄武岩を人力でくりぬいた石窟群は古いもので2000年もの



アジャンタ石窟 法隆寺の蓮華手菩薩像にも影響を与えたと言われる第1窟の蓮華手菩薩像



アジャンタ石窟(イメージ)

エローラ石窟のカイラーサナータ 寺院で圧巻の彫刻を堪能

歳月を経ても朽ちることなく、内部もフレスコ画も一部ではありますが、奇跡的に色彩鮮やかに残ります。古代仏教の源流を知るのに、見逃せない世界遺産です。今回は終日かけて、公開していない石窟を除く主要な石窟を、日本語解説員とともに丹念に巡ります。古代壁画芸術の白眉「蓮華手菩薩像」のある第1窟をはじめ紀元前2世紀からの僧院窟や礼拝窟がそのままの形で残り、古代仏教の僧の生活を垣間見ることができます。硬質な玄武岩を人力でくりぬいた石窟群は古いもので2000年もの



内部からのカイラーサナータ寺院も迫力があります

ツアープランナーより

インドの美術史上、造形的にも保存状態からも高く評価されているアジャンタ、エローラ、サーンチーの仏教遺跡。いずれも世界遺産に登録される、古代インド仏教の傑作です。このたびはオーランガバードに3連泊し、アジャンタ石窟では終日たっぷりと時間を取って、日本語の専門ガイドの案内のもとしっかりとご案内します。エローラ石窟では自由時間をお取りして、ヒンドゥー教寺院の傑作カイラーサナータ寺院を堪能していただきます。また、インド中部にあるインド最古の仏教遺跡サーンチーも見逃せません。インド国内線を駆使して、デカン高原の都市オーランガバードから中部のボーパールまでは陸路移動して、通常は訪れづらい訪問地をつなぎます。高い芸術性から、古代仏教を知る上でとても希少な遺跡です。仏教の源流を求めて、中部インドへぜひお出かけください。



アジャンタ石窟(イメージ)

インド最古の仏教遺跡サーンチー

インド最古の仏教遺跡サーンチー。仏舍利を祀るストゥーパと日本の鳥居に似たトラナ(塔門)の美しいレリーフで有名です。サーンチーの第1ストゥーパはインド初の統一王朝マウリヤ朝のアショーカ王が釈迦の骨・仏舍利を納めるために建立したもので、以後、サーンチーは仏教の聖地として栄え続けました。長いインドの歴史の中で紀元前の建築物が残されているのは奇跡的です。中部インドにあるため、なかなか訪れづらい場所ながら、古代仏教遺産として見逃すことのできない見どころへ足を延ばします。



仏教の聖地として栄えたサーンチー遺跡

ツアービュー

石窟だけないオーランガバードの魅力

オーランガバード周辺にはミニタージ・マハルと呼ばれるビービー・カ・マクバラーなど石窟以外にも見どころがあります。素朴なバザールで、デカン高原に生きる人々の姿が垣間見えるクルダーバード村も訪ねます。



「ミニ・タージ」、「デカン高原のタージ」と呼ばれるビービー・カ・マクバラー

世界遺産ビームベトカ岩絵遺跡群

ビームベトカの岩絵遺跡群は、世界遺産に登録される隠れた見どころです。ボーパール近郊の自然豊かな岩山に描かれた動物や宗教儀礼、人々の生活を描いた岩絵は、現代に古代インドの様子を生き生きと伝えてくれます。ボーパール滞在中に、サーンチーとあわせて2つの世界遺産を訪ねます。



ビームベトカに残る岩絵

旅の締めくくりには、洗練された 創作インド料理レストランでのランチを

旅の締めくくりには、ニューデリーにあるレストラン「インディアン・アクセント」でのランチも楽しみください。「アジアのベストレストラン50」にも選定されており、メニュー表からは想像できないほどお洒落な盛り付けのモダンな創作インド料理が提供されます。



ニューデリーの「インディアン・アクセント」

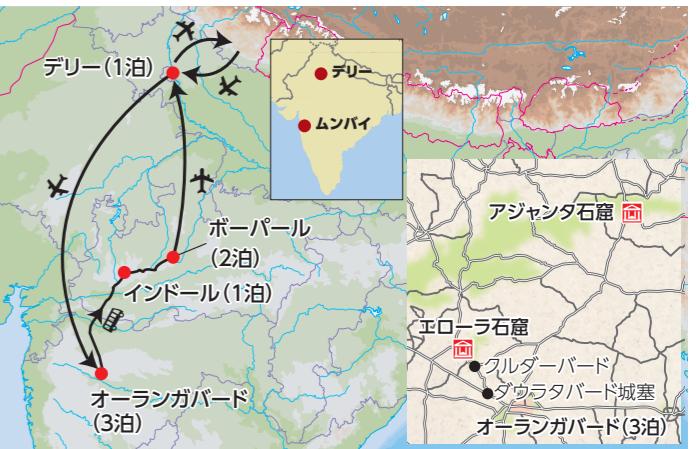


モダンで洗練されたインド料理(イメージ)

ご宿泊ホテル

- デリー近郊(空港近郊)：ラマダ・バイ・ウインダム・グルガオン・セントラル
- オーランガバード：レモンツリー・ホテル・オーランガバード(12月2日発)
ヴィヴァンタ・オーランガバード(1月20日発、3月17日発)
- インドール：レモンツリー・ホテル
- ボーパール：タージ・レイクフロント・ホテル
※レイクビューの客室をご用意しました。

※各地のホテルはいずれも、シャワーのみの客室となります。また、2名様利用の客室のベッドタイプはハリウッド・ツインタイプとなります。



利用予定航空会社：エア・インディア	集合・日数・出発日	旅行代金
	【羽田空港集合・9日間】 2025年12月2日(火) 2026年1月20日(火)、3月17日(火)	エコノミークラス利用 ¥398,000
	(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥99,000にて承ります)	ビジネスクラス利用 お問い合わせください
	ビジネスクラス利用区間：国際線全区間(羽田空港～デリー往復)	
	燃油サーチャージ別途目安：¥19,000：5月1日現在	
地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 ¥10,000	各支店へお問い合わせください

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港11:50発 デリー 17:25 着	羽田空港より、航空機にてデリーへ。 着後、ホテルにチェックイン。 (デリー泊) □機内	
2	デリー 05:00 発 オーランガバード 07:10 着	早朝、デリーより航空機にてオーランガバードへ。 着後、市内観光へ。●オーランガバード石窟寺院、●ビービー・カ・マクバラーにご案内します。 午後、早めにホテルにチェックイン。 (オーランガバード泊) 朝夕夕	
3	オーランガバード (アジャンタ石窟寺院群)	終日かけて、珠玉の圓●アジャンタ石窟寺院群を訪ねます。 また、アジャンタの渓谷を俯瞰するビューポイントへもご案内します。 日本語の専門ガイドとともに、紀元前1世紀から始まる、古代仏教寺院石窟を、たっぷり時間をかけて訪ねます。(一部、閉鎖中、未公開の石窟もございます) (オーランガバード泊) 朝夕夕	
4	オーランガバード (エローラ石窟寺院)	午前、郊外の圓●エローラ石窟寺院へ。仏教、ヒンドゥー教、ジャイナ教の3つの宗教の石窟寺院が見られます。ヒンドゥー教の石窟寺院●カイラーサナータ寺院は、自由時間をかけてゆっくりとご覧いただけます。 午後、クルダーバードに立ち寄り、バザールの散策とオーランガバード帝の墓所を見学します。 夕刻、オーランガバードに戻ります。 (オーランガバード泊) 朝夕夕	
5	オーランガバード 07:00 発 インドール 18:00 着	午前、専用バスにてオーランガバードよりインドールへ(本日は終日、移動日です)。 夕刻、ホテルにチェックイン。 (インドール泊) 朝夕夕	
6	インドール 10:30 発 ボーパール 18:00 着	午前、インドールの観光。●ラジワダ宮殿を見学。 その後、ボーパールへ。 着後、ホテルにチェックイン。 【2連泊】(ボーパール泊) 朝夕夕	
7	ボーパール 08:00 発 (サーンチー遺跡) (ビームベトカ)	終日、ボーパール周辺の観光にご案内します。 アショーカ王により建立された圓●サーンチー遺跡と、古代壁画の見られる圓●ビームベトカの2つの世界遺産を巡ります。 夕刻、ボーパールに戻ります。 (ボーパール泊) 朝夕夕	
8	ボーパール 08:05 発 デリー 09:35 着 デリー 20:20 発 羽田空港07:55 着	朝、国内線でデリーに戻ります。 着後、●国立博物館を訪ねます。 ランチは、インドモダン料理「インディアン・アクセント」にてご用意しました。 夜、航空機にて帰国の途へ。 (機中泊) 朝夕機	
9		朝、羽田空港到着。着後、解散。 機□□	

※1月20日発では、1月26日がインドの建国記日(共和国記念日)にあたるため、翌日8日目デリーでの行程が通常と異なる場合がございます。建国記日の影響による観光箇所の閉館やレストランの休業等の情報は5月現在では未定の為、万一予定の行程でご案内することが出来ない場合には、代替の観光やレストランにご案内いたします。

ご旅行条件とご注意

- 最少催行人員：10名様
- 食事：朝食7回、昼食7回、夕食6回
- 添乗員：羽田空港出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。
- パスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上
- パスポート査証未使用：2ページ以上同行
- パスポート査証代実費：3,900円(2025年4月現在)
- パスポート査証取得手数料：6,600円(税込)
- 検査用写真：1枚(縦5cm×横5cm)。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面まで2.9cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたものを。
- パスポートのカラーコピーをお預かりします。

燃油サーチャージ込み 世界遺産の階段井戸やインダス遺跡へ 注目の西南インド グジャラートの旅 9日間

ここに注目。旅のポイント

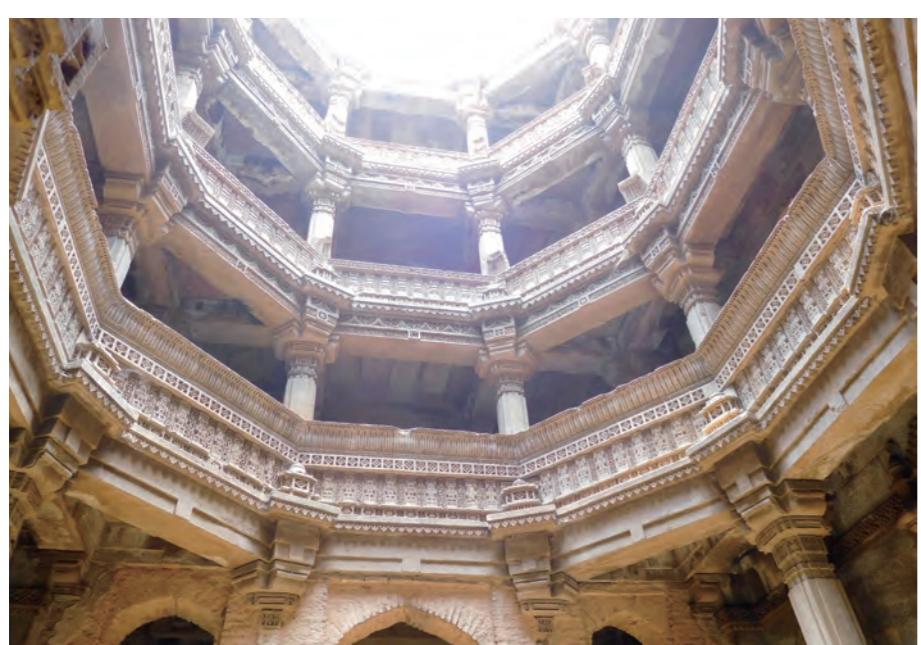
グジャラート建築の極みともいえる2つの階段井戸へご案内します

アーメダバードからパタンにかけて、この地方独特の建造物「階段井戸」が点在しています。西インドは乾燥した地域柄、水が少なく真夏は50度近くまで気温が上がる日もあります。そのため階段井戸は生活水をまかなう重要な神聖な場所として大切にされ、人々が涼を求めて集まるサロンとしても賑わいました。代表的な2つの階段井戸を訪ね、見事な装飾や立体的に彫り込まれたヒンドゥーの神々の彫刻やイスラム式の幾何学模様など、圧巻の建築美をご堪能ください。

①世界遺産グジャラート最古の階段井戸 ラーニ・キ・ヴァヴ(王妃の階段井戸)



②深さは30メートル 最も美しいといわれる アダーラジの階段井戸



イスラム建築を基調とするアダーラジの階段井戸

ツアープランナーより

旅の舞台は建国の父ガンディーを輩出した、インド最西部のグジャラート州。インド初の世界遺産都市アーメダバードでは、イスラム情緒漂う市街を逍遙。近郊には圧巻の「階段井戸」や古のインダス文明史跡もあり、なんとも歴史深い地です。旅の後半は、カッチ地方に3連泊。美しい伝統衣装を受け継ぐ少数民族で知られるこの地では、色彩豊かな衣装を身に纏った人々や独特の刺繡・織物文化との出会いを通じて、グジャラートの多彩な表情に触れていただけることでしょう。また、2021年に世界遺産となったドーラヴィーラも訪問。モヘンジョダロやハラッパに匹敵する、最大規模のインダス文明都市遺構ですが、世界遺産登録を受けて道路が整備されて格段に訪れやすくなりました。今こそ、色彩豊かで魅惑に満ちたグジャラートへお出かけください。



2021年に世界遺産に登録された インダス文明の都市遺跡 ドーラヴィーラを見学

ブージ郊外に3連泊の滞在中に訪ねるハイライトが、モヘンジョダロ、ハラッパなどと並び、インダス文明五大都市のひとつに挙げられるドーラヴィーラ遺跡です。インダス文明遺跡の特徴である高度な下水施設や貯水槽、商店街の遺構などが残されており、2021年に世界遺産に登録されました。紀元前3000～1500年頃にかけて人々が住み、土器などの発見からメンソポタミアやペルシャ湾地域と海洋交易が行なわれていたこともわかっています。



紀元前3000年前後には、すでにこの地に都市文明がありました

グジャラート州最大の都市であり 世界遺産のアーメダバードに2連泊します

アーメダバードの2連泊では、貴重なインダス文明の都市遺跡、ロータル遺跡へ。原初的な都市機構や船溜りの跡もあり、この地が水上交易の拠点となっていたことが窺えます。また世界遺産のアーメダバード旧市街散策にもご案内します。



19世紀より綿工業などで栄えてきたアーメダバード



インダス文明の都市遺跡、ロータル遺跡



利用予定航空会社:マレーシア航空、シンガポール航空	ツアーコード:IN160T
集合・日数・出発日	旅行代金
【成田または羽田空港集合・9日間】 2025年12月16日(火) 2026年3月24日(火)	エコノミークラス利用 ¥458,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)	ビジネスクラス利用 ¥758,000
ビジネスクラス利用区間:東京～アーメダバード間往復	
燃油サーチャージは旅行代金に含まれております。	

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 ¥5,000	但し付帯条件がございますので各支店へお問い合わせください。
	福岡・札幌～東京 片道 ¥10,000	

日数	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10:05発 → クアラルンプール17:00着 クアラルンプール18:50発 → アーメダバード21:40着	午前、航空機にてクアラルンプールへ。 着後、航空機を乗り換えアーメダバードへ。 着後、ホテルへ。 【2連泊】(アーメダバード泊) □機械	
2	アーメダバード (ロータル遺跡)	午前、インダス文明の都市遺跡●ロータル遺跡を観光します。 『アガシ』でグジャラートターリーのランチ。 午後、■アーメダバード旧市街にご案内します。歴史ある○大モスクなどを見学。	
3	アーメダバード08:30発 → パタン パタン着後、ダサダ18:00着	午前、●アーダーラジの階段井戸を見学。 その後、パタンへ。 パタン着後、■●王妃の階段井戸ラーニ・キ・ヴァヴを見学。 見学後、小カッチ湿地のダサダへ。 (ダサダ泊) 朝昼夕	
4	ダサダ08:00発 (小カッチ湿地サファリ) ダサダ18:00着	午前、インドノロバを探しての小カッチ湿地サファリをお楽しみください。 その後、ブージ郊外のホテルへ。 【3連泊】(ブージ郊外泊) 朝昼夕	
5	ブージ	午前、ブージの市内観光へ。●プラーマハル、●アイーナマハルを見学。 午後、少数民族の村へ。メグワル族の暮らすビランディアラ村、ローガンアート(ひまし油でつくる装飾)で有名なニローナ村を訪ねます。	
6	ブージ (ドーラヴィーラ遺跡)	終日、インダス文明の都市遺構のうち、インド内で最大規模の■●ドーラヴィーラ遺跡へ。途中、カッチ湿地の塙の大地を走ります。 (ブージ郊外泊) 朝昼夕	
7	ブージ08:00発 → ジャムナガル ジャムナガル着後、ラージコート18:00着	午前、ラージコートへ。 途中、ブジョーディー村や、絞り染めで有名な村ジャムナガルに立ち寄ります。 夕刻、ラージコートに到着。 (ラージコート泊) 朝昼夕	
8	ラージコート13:00発 → アーメダバード22:40発	午前、ラージコートの市内観光。●カバ・ガンディー・ノ・デロ、●ワツン博物館にご案内します。 その後、アーメダバードへ。 夜、航空機にてクアラルンプールへ。 (機内泊) 朝昼機	
9	クアラルンプール06:45着 クアラルンプール09:40発 → 成田空港17:30着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夕刻、成田空港に到着。 機械□	

*日程表の時刻は、成田空港発着のマレーシア航空の利用を想定したものです。他の便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

*グジャラート州は独自の文化や自然景観がよく残る地域ですが、反面、道路の整備などはデリー郊外に比べ遅れているため、移動に時間を要します。

*グジャラート州はインドにおける「ドライステート」(禁酒州)となり、酒類の持ち込みはできません。また、現地での購入場所もかなり限られたとなりますので、お飲みおきください(日本国内からの酒類の持ち込みはできません)。また、レストランなどの提供もございません。

*また、グジャラート州は菜食主義(ベジタリアン)の多い州であるため、レストラン、ホテルによっては菜食(ベジ)料理のみの提供となる箇所がございます。(インドの菜食主義は、ミルク、バターなどは使われますが、肉・魚・卵の料理は忌避されます)。

ご宿泊ホテル

アーメダバード: ジ・ウンミード・アーメダバード(旧タージ・ウンミードホテル)

※夜遅い到着のため、空港の近くのホテルに宿泊します。

ダサダ: ラン・ライダーズ

ブージ郊外: レジェンタ・リゾート

ラージコート: サヤジ・ラージコート

※菜食主義(ベジタリアン)メニューのみのホテルです。

※いずれのホテルもシャワーのみの客室となります。

※各地のホテルはいずれも、シャワーのみの客室となります。また、2名様利用の客室のベッドタイプはハリウッド・ツインタイプとなります。

*最少催行人員: 10名様 ■食事: 朝食7回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員: 成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行いたします。 ■パスポート必要残存有効期間: 帰国時6か月以上 ■パスポート査証未使用履歴: 2ページ以上必要 ■査証代実費: 3,900円(2025年4月現在) ■査証取得手数料: 6,600円(税込) ■査証用写真: 1枚(縦5cm×横5cm、カラー写真、背景は白色、顔の縦(顔からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm、目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm、正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可) 3か月以内に撮影されたもの。肩の上(肩から上)がはっきりしたもの) ■パスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員: 10名様 ■食事: 朝食7回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員: 成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行いたします。 ■パスポート必要残存有効期間: 帰国時6か月以上 ■パスポート査証未使用履歴: 2ページ以上必要 ■査証代実費: 3,900円(2025年4月現在) ■査証取得手数料: 6,600円(税込) ■査証用写真: 1枚(縦5cm×横5cm、カラー写真、背景は白色、顔の縦(顔からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm、目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm、正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可) 3か月以内に撮影されたもの。肩の上(肩から上)がはっきりしたもの) ■パスポートのカラーコピーをお預かりします。

8大仏跡をめぐる 大シルクロード紀行 天竺編 16日間



釈尊が悟りを開いたブッダガヤでは菩提樹の下で僧侶たちが読経を唱えています（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

釈尊が生誕し転機を迎えた重要な聖地・8大仏跡を一筆書きのルートで訪ねます

【①三道宝階降下伝承の地】

サンカシャ

サンカシャには仏陀の事蹟が残されているわけではありませんが、人々がここを訪れる理由は、マヤ夫人（ばにん）についての伝説が残っているからです。マヤ夫人は、出産を終えた7日後に世を去り、釈尊は実母を

知らずに育ちます。仏陀として悟りを開いた後、マヤ夫人に説法するために天界へわざわざ昇ったというお話があります。天界に昇り、母に説法をした後、地上に再び降り立った場所がサンカシャだと伝えられています。現在では寺院やストゥーパが建てられています。

【②祇園精舎の地】 サヘート・マヘート

マヘートは釈尊が生きていた時代、シラヴァスティと呼ばれていたコーサラ国の都でした。郊外のサヘートには、祇園精舎がありました。もとはコーサラ国の太子の土地であり、常日頃から貧者に施しを与えるような人物だったスダッタは釈尊の教えに感銘を受け、瞑想にふさわしいこの土地を寄進しようとしま

した。しかし太子はなかなか譲ることがなかったので、スダッタが土地一面に黄金を敷き詰め、太子の心を動かしたといわれます。

マヘートにあるスダッタの長者屋敷跡

は釈尊の生誕地であることを示す碑があり、夫人が出産の前に沐浴した



マヤ夫人が沐浴したプスカリニ池

池などが残されています。



釈尊が生まれたあとに建てられたマヤ聖堂とアショカ王の石柱（イメージ）

【③生誕の地】ルンビニ

釈尊はヒマラヤ山脈の麓、古代北インドの一部族、釈迦族の王子として生まれました。母のマヤ夫人がお産

【④涅槃の地】クシナガル

悟りを開いてから布教伝道の旅を続けた釈尊は、死期を悟ると布教の旅を続けながら最後の旅に出ました。腹痛を訴えクシナガルに着くと2本の沙羅双樹の間に横たわり、そのまま起き上がることなく、80歳で入滅しました。



した。その場所に建てられたお堂の脇には釈尊の死を悼み、沙羅の木が植えられています。故郷ルンビニは北にあり、父母に足を向けることはできないと頭を北に涅槃に入りましたが、これが「北枕」の由来になりました。



ツアープランナーより

仏教の開祖である釈尊はネパール領のルンビニで生まれた後、故郷を離れ、やがて悟りを開くと、布教のために各地を旅しました。北インドには、その足跡が仏跡として刻まれています。ツアーでは行程を工夫し、一筆書きのルートでこれら8大仏跡を巡っていきます。一般的な観光ルートではありませんが、釈尊が実際に歩き、目にしたかもしれない片田舎をバスで走り、生きた釈尊の存在感を感じながらその生涯を追っていく旅情あふれるツアーです。同地はいずれも7世紀に玄奘三蔵が仏法を求めて、シルクロードを経由して訪ねた場所でもあり、当時の様子を『大唐西域記』に記しています。釈尊そして玄奘の跡を追う、歴史ロマンあふれる16日間の旅へご一緒に出かけませんか。

聖地ベナレスに連泊ガンジス川の沐浴や夜のお祈りをご覧いただけます



ガンジス川の風景（イメージ）
川に至る階段状のガートがいくつも築かれています

【⑤最後の旅の地】ヴァイシャリ

悟りを開き仏陀となった釈尊は、その後45年にわたる遊説の際、何度もヴァイシャリを訪ねました。そして、死期を悟った釈尊はヴァイシャリ近郊で最後の雨安居を過ごし、クシナガルへ向かう「最後の旅」を始めます。釈尊に関わり深い聖地として、入滅より100年後には釈尊の教えを後世に残すための「仏典結集」がおこなわれ、現在も当時の史跡を求めて巡礼

者が訪れます。



「仏典結集」を記念して建てられたアショカの石柱とストゥーパ

【⑥布教の地】ラージギル

釈尊の時代、古代マガダ国の首都は

ラージギルでした。釈尊が最も長く滞在し説法をした聖地として、ビンビサーラ王が寄進した世界初の僧院

「竹林精舎」、『法華經』が説かれた「靈鷲山」など、仏教史上重要な史跡が点在しています。靈鷲山には、釈尊が

瞑想した場所に花々が手向けられ、神聖な空気が漂います。



靈鷲山中腹に残る、釈尊が瞑想した場所

【⑦悟りの地】ブッダガヤ

ガンジス川の支流、ナイルンジャーナー川のほとりにあるブッダガヤでのこと、6年の苦行を経ても悟りを開けなかった釈尊は、極端なことを捨てて中道を行くことを選びました。そして菩提樹の下で瞑想し、ついに仏陀（覺者）となりました。その場所に建つ、大菩提寺（マハーボディ寺院）には世界中から巡礼者がやってきます。



釈尊が悟りを開いた跡に築かれたマハーボディ寺院

【⑧初転法輪の地】サールナート

ブッダガヤで悟りを得た釈尊が一緒に苦行を行った修行者に、初めて説法を行ったのが、サールナート。ガンジス川の一大聖地ベナレスの郊外に位置し、当時鹿が住んでいたことから鹿野苑とも。仏教を篤く奉じたアショカ王が築いたとされる、高さ42メートルの仏舍利を納めたダメーク・ストゥーパがそびえています。



アショカ王が建造したサールナートのダメーク・ストゥーパ（イメージ）

玄奘三蔵も訪ねた世界遺産ナーランダ僧院跡も訪ねます

釈尊がマンゴーの木の下で説法をしたのが始まりで、5世紀には世界最古の大学のひとつとして仏教を学ぶ重要な場所となりました。7世紀には唐の玄奘三蔵が訪ねたことでも知られています。11の僧院跡、14の寺院跡が今も残されています。



ナーランダ僧院跡



利用予定航空会社：エア・インディア、日本航空
集合・日数・出発日

ツアーコード：IN186T
旅行代金

【羽田空港集合・16日間】 2026年2月17日(火)	エコノミークラス利用 ¥698,000	ビジネスクラス利用 お問い合わせください
(お一人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥150,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間にのみ適用（羽田空港～デリー空港間往復）		

燃油サーチャージ別途目安：¥37,000：6月1日現在

地方発着追加代金
大阪・名古屋～東京、片道 …… ¥5,000
福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000
但し条件がございますので
各店舗お問い合わせください

日数 訪問地 スケジュール 宿泊地・食事
1 羽田空港11:50発 → デリー 17:25着 羽田空港より、航空機にてデリーへ。
（デリー泊） 機
2 デリー 09:00発 → アグラ15:00着 午前、バスにてアグラへ。途中、●マトゥラー考古学博物館を訪れます。午後、■タージ・マハルへご案内します。
（2連泊）（アグラ泊） 朝昼夕

3 アグラ（サンカシャ） 午前、サンカシャへ。①三道宝階降下伝承の地サンカシャの観光。○アショカ王柱やストゥーパを見学。（アグラ泊） 朝昼夕

4 アグラ08:47発 → ラクナウ12:55着 午前、列車にてラクナウへ。（注）着後、●アンベールカル記念公園、○ルミ・ダルワザ、ラクナウ名産のチカン刺繡の工房を訪れます。（ラクナウ泊） 朝昼夕

5 ラクナウ09:00発 → シュラヴァスティ13:00着 午前、ラクナウよりシラヴァスティへ。（注）②祇園精舎の地サヘート・マヘートを観光。（シラヴァスティ泊） 朝昼夕

6 シュラヴァスティ09:00発 → ルンビニ17:00着 終日、ルンビニへ。途中、カビラヴァストゥ城跡（インド説）のピープラハワに立ち寄ります。その後、国境を越えネパールのルンビニへ。（2連泊）（ルンビニ泊） 朝昼夕

7 ルンビニ 終日、③生誕の地ルンビニの観光。○アショカ王柱、●マヤ・デヴィ寺院、カビラヴァストゥ城跡（ネパール説）のティラウラコットに（ルンビニ泊） 朝昼夕

8 ルンビニ09:00発 → クシナガル15:00着 午前、再び国境を越え、クシナガルへ。
午後、④涅槃の地クシナガルの観光。●大涅槃寺（ニルヴァーナ寺院）、○ラマバール・ストゥーパにご案内します。（クシナガル泊） 朝昼夕

9 ヴァイシャリ → パトナー 18:00着 午前、ヴァイシャリへ。途中、世界最大と言われる○ケサリア・ストゥーパへご案内します。その後、⑤最後の旅の地ヴァイシャリの観光。○アショカ石柱や○アーナンダ・ストゥーパの見学。（2連泊）（パトナー泊） 朝昼夕

10 パトナー 午前、●ビハール博物館にご案内します。その後、古都バータリップラの遺跡が残るクムハラールを訪れます。（パトナー泊） 朝昼夕

11 パトナー 09:00発 → ナーランダ 14:00着 午前、パトナーよりナーランダへ。■ナーランダ・マハーヴィハラ考古遺跡の●大学跡の見学。その後、ラージギルへ。（6布教の地）ラージギルの観光。●靈鷲山、●竹林精舎を見学。（ラージギル泊） 朝昼夕

12 ラージギル09:00発 → ブッダガヤ12:00着 午前、ラージギルよりブッダガヤへ。
【⑤最後の旅の地】ブッダガヤの見学。■大菩提寺（マハーボディ寺院）、○菩提樹、○スジャータの村にご案内します。（ブッダガヤ泊） 朝昼夕

13 ブッダガヤ08:00発 → ベナレス18:00着 午前、バスにてベナレスへ（この日は、終日バス移動となります）。午後、ベナレス着後、ホテルへ。（2連泊）（ベナレス泊） 朝昼夕

14 ベナレス（サールナート） 早朝、ガンジス川の沐浴の様子をポートからご覧ください。（6初転法輪の地）サールナートの観光。鹿野苑の○ダメーク・ストゥーパ、●初転至輪寺にご案内します。夜、ガンジス川の祈りの儀式アーラティにご案内します。（ベナレス泊） 朝昼夕

15 ベナレス12:50発 → デリー14:30着 ベナレス空港へ。
午後、航空機にてデリーへ。
着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。（機内泊） 朝昼夕

16 羽田空港07:55着 午前、羽田空港に到着後、解散。機□□

※日程表の時刻は、エア・インディアの羽田空港発着の便を想定したものです。他の便、または他航空会社の便を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。（注）列車の発着時刻は変更になる場合がございます。

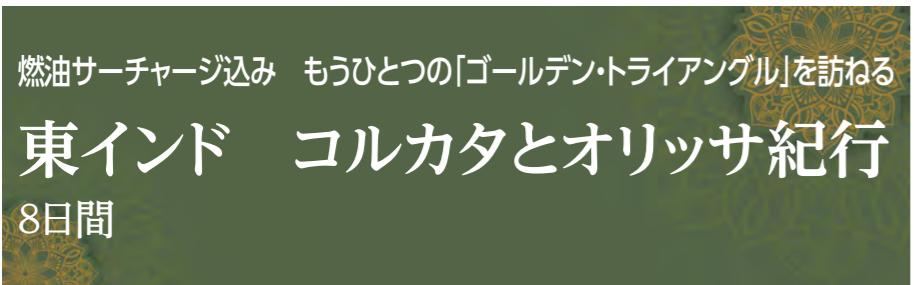
ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食14回、昼食4回、夕食13回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行いたします ■パスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■パスポート査証未使用欄：4ページ以上必要 ■査証代費用：印度1,640円、ネパール5,000円（2025年6月現在） ■査証取得手数料：13,200円（税込） ■査証用写真：計2枚。うち1枚はイントラント用として（縦5cm×横5cm）。裏にサインはしないこと。カラー写真、背景は白色。顔の縦（頭からあごまで）サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。肩のライン（肩から上）がはっきりしたるもの。もう1枚は、ネパール査証用として（縦4.5cm×横3.5cm）。カラー写真、背景は白色。スナップ写真およびデジタル加工されたもの不可。3ヶ月以内に撮影されたもの。 ■パスポートの本体をお預かりします。
※陸路でのインドの出入国と併用（ネパールへ出張、およびネパールから入国）のため、大使館または領事館取得の査証（ビザ）の取得が必要です。有効期限内の「インビエ-visa」をお持ちのお客様も当ツアーにあたっては、新たな査証取得が必要ですので、ご注意ください。

ご宿泊ホテル

- デリー：ラディソン・ブリュ・ホテル・ニューデリー・ドワルカ
- アグラ：グランド・メルキュール・アグラ
- クラクス・アワード
- シュラヴァスティ：ローダス・ニッコ・ホテル
- ルンビニ：ルンビニ法華ホテル
- クシナガル：ザ・ロイヤル・レジデンシー・クシナガル
- パトナー：ザ・パナシエ
- ラージギル：インド法華ホテル・ラージギル
- ブッダガヤ：ザ・ロイヤル・レジデンシー・ブッダガヤ
- ベナレス：ラディソン・ホテル・バラナシ ■新市街に位置する、設備の整ったホテルです。

※ルンビニのホテル以外は、シャワーのみの客室となります。
※いずれのホテルも、2名1室利用の場合ハリウッド・ツインタイプのベッドとなります。



太陽寺院。基壇の両側面に12ずつ、合計24個付けられた車輪。日時計になっていて時間を知ることができます

ここに注目。旅のポイント

目を見張る彫刻群 13世紀に築かれた世界遺産コナーラクの太陽寺院を訪ねます

タージ・マハルの翌年、1984年に世界遺産に登録された太陽寺院。東ガンガ王朝の下で20年もの月日をかけて築かれた壮大・壯麗なもので、オリッサ建築の白眉と称されます。寺院全体が7頭の馬と24の車輪で作られた馬車に曳かれるようにデザインされ、伝統舞踊「オリッシダンス」のポーズをとった踊り子たちの躍动感あるレリーフが施されています。とりわけ3メートルに及ぶ車輪の彫刻は見事。太陽神スリヤを運ぶ馬車そのものを表現した北方オリッサ様式寺院建築の最高傑作とされ、



太陽(スリヤ)寺院 馬にひかれて天を駆けぬける馬車を模しています

オリッサ建築の最高傑作、11世紀建立のリンガラージャ寺院を展望します

オリッサの州都ブバネーシュワルは、紀元前に遡るカリンガ国の都で、500を数える寺院の存在が往時の繁栄ぶりを伝えています。いくつもの寺院が乱立する寺町ですが、中でもランドマークはリンガ・ラージャ寺院。オリッサ建築の最高傑作とされ、コナーラクの太陽寺院、ブリのジャガナート寺院は、同寺院の建築様式を受け継いで誕生しました。内部に入るのはヒンドゥー教徒のみですが、展望ポイントから眺める中心寺院のシカラ(高塔)の眺望だけでもその偉容が味わえます。



シカラがそびえるリンガラージャ寺院 本殿は約45メートルもの高さを誇ります



ツアープランナーより

インド東部、ベンガル湾に面したオリッサ(現オディシャ)。紀元前に栄えた仏教、ジャイナ教王朝の史跡から、中世に台頭した王朝によるヒンドゥー教寺院まで、歴史遺産があちこちに見られます。インドを起源とする様々な宗教の圧巻の建築群は、オリッサ独特の発展を遂げて「オリッサ様式」として大成しました。見どころは、東海岸の三都市で形成される「オリッサのゴールデン・トライアングル」。観光地というより神聖な地として、インド各地から巡礼者が訪れる熱心に信仰する姿は、なんとも厳かです。空路はマレーシア航空を利用し、英領期の首都カルカッタ(現コルカタ)から旅をスタート。ベンガル湾に近いコルカタも「ベンガルの文化」が花開いた地。奥深いインドの文化を訪ね、ベンガルの大地へぜひお出かけください。

12世紀建造の東インド最大のヒンドゥー教寺院 ジャガナートを訪ねます

ベンガル湾に面したブリはリギーとしても人気ですが、ヒンドゥー教徒にとっては聖地です。ここには東インド最大の寺院、ジャガナート寺院がそびえています。本尊のジャガナートとはヒンドゥー教の人々が熱心に祈る姿が見られ、圧倒されることでしょう。



ジャガナート寺院(異教徒は入場禁止のため外観のみ)



ジャガナートはお土産にもなっています(イメージ)

ツアービュー

紀元前1世紀に遡るジャイナ教寺院群 ウダヤギリ・カンダギリ

アショカ王時代、カリンガ国を領有したマウリヤ朝ですが、力が弱まるとき、ジャイナ教を信仰する王が誕生しました。ジャイナ教徒が瞑想する場所として開拓した石窟寺院が今も残されています。



ウダヤギリ石窟

インド4大舞踊のひとつ「動く彫刻」オリッシダンス

オリッシダンスは、ジャガナートに捧げられた踊り。コナーラクの太陽寺院などを訪問した後にご覧いただくとその踊りが彫刻に描かれたものと同じなのがおわかりいただけます。布(パッタ)に描かれた絵画(チトラ)を意味し、細やかな絵画作品のほか、素朴な村の壁画も鮮やかな装飾で飾られています。



オリッシダンス(イメージ)



ブリ近郊の小さな村を訪ねます(添乗員撮影)



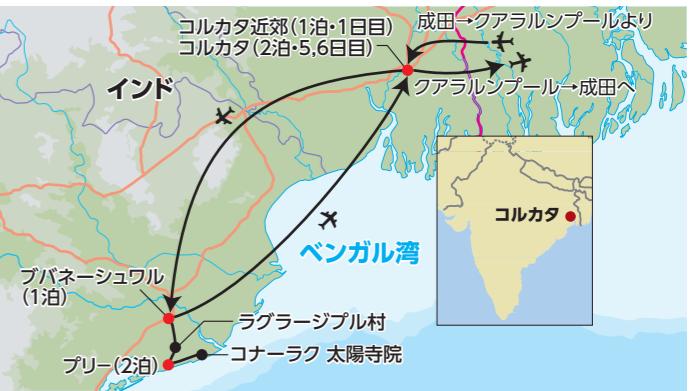
細密画パッタチトラ(イメージ)

締めくくりはコルカタ周辺の見どころを探訪

インドらしい喧騒が感じられる旧市街のカーリー寺院や郊外のジャイナ教寺院パレシュナートのほか、屈指の仏教コレクションを誇るインド博物館を訪問。インド最古のメトロ乗車も体験します。



インド博物館



利用予定航空会社:マレーシア航空

集合・日数・出発日 旅行代金

【成田空港集合・8日間】 エコノミークラス利用

2026年 2月8日(日), 3月15日(日) ビジネスクラス利用

¥475,000 ¥775,000

(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥110,000にて承ります)

ビジネスクラス利用区間:成田空港→クアラルンプール→コルカタ間往復に適用

燃油サーチャージは旅行代金に含まれております。

地方発着追加代金 大阪・名古屋~東京 片道 ¥5,000 (各支店へお問い合わせください)

福岡・札幌~東京 片道 ¥10,000

宿泊地・食事

日 訪問地 スケジュール

1 成田空港10:05発→クアラルンプール17:00着
23:00着後、航空機を乗り換え、コルカタへ。
夜、空港近郊のホテルにチェックイン。

(コルカタ空港近郊泊) □機械

2 コルカタ12:00発→ブバネーシュワル13:00着
着後、オリッサ州のリゾート地ブリへ。途中、○ウダヤギリ石窟、○カンダギリ石窟遺跡を見学します。

夕刻、ホテルにチェックイン。 [2連泊](ブリ泊) 朝夕

3 ブリ 18:30着
(コナーラク) 午前、ブリよりコナーラクへ。庄園の圓●太陽寺院を見学。
午後、ブリに戻り、旧市街にそびえる○ジャガナート寺院を見学ます(注2) (ブリ泊) 朝夕

4 ブリ 08:00発→(ラグラージブル村)
ブバネーシュワル13:00着
午前、州都ブバネーシュワルへ。
途中、ラグラージブル村を散策。オリッサに伝わるパッタチトラという細やかな絵画の工芸で知られる村です。

ブバネーシュワル着後、昼食と市内観光。●州立民族博物館などを見学します。

夜、オリッサの民族舞踊を鑑賞。(ブバネーシュワル泊) 朝夕

5 ブバネーシュワル14:30発→コルカタ15:40着
午前、○リンガ・ラージャ寺院(注2)、○ラージャ・ラーニー寺院を見学。その後、空港へ。
午後、国内線にて、コルカタへ戻ります。(注1) 着後、ホテルにチェックイン。

[2連泊](コルカタ泊) 朝夕

6 コルカタ 終日、コルカタの市内観光へ。
午前、コルカタ旧市街へ。インド最古のメトロ乗車体験、○カーリー寺院、ビクトリア記念堂などを見学。
昼食は、ベンガル料理の名店「アーリ」でシーフード料理をお召し上がりください。

(コルカタ泊) 朝夕

7 コルカタ 午前、出発までゆっくりとお過ごしください。
午後、インド最大の●インド博物館を訪ね、有名なバールフットの欄楯など古代仏教の傑作をご覧ください。その後、ジャイナ教寺院●パレシュナート寺院を訪れます。

夜、空港へ。

(機械泊) 朝夕

8 コルカタ00:10発→クアラルンプール06:45着
クアラルンプール09:40発→成田空港17:30着
深夜、航空機にてクアラルンプールへ。
着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。
夕刻、成田空港に到着後、解散

機械□

(注1)インド国内線の受託手荷物の重量制限は15kgまでとなります。また、時刻は変更となる場合がございます。

(注2)ヒンドゥー寺院は、ヒンドゥー教徒以外の入場ができないため、外観からの眺望のみとなります。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員: 10名様 ■食事: 朝食6回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員: 成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期限: 帰国時6ヶ月以上 ■パスポート査証未使用欄: 2ページ以上必要 ■査証代実費: 3,900円 (2025年4月現在) ■査証取得手数料: 6,600円 (税込)

■査証用写真: 1枚(縦5cm×横5cm) カラー写真、背景は白色、顔の縦(額からあごまで) サイズが2.5cm×3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm~3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3ヶ月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたもの。 ■パスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル

■コルカタ空港近郊(1日目): サローヴァル・パーティコ・コルカタ・ラジャーハット

■ブリ: メイフェア・ヘリテージ・ブリ

■ブバネーシュワル: ヴィヴァンタ・ブバネーシュワル

■コルカタ(5日目、6日目): ハイアット・リージェンシー・コルカタ

※いずれのホテルもシャワーのみの客室となります。

※ブリのホテル(2日目~3日目)は、2名様利用の場合の客室のベッドタイプはハリウッド・ツインタイプとなります。ご了承ください。

**新企画 知られざる桃源郷アッサムをゆく
世界遺産カジランガ国立公園と
ブラマプトラ川の船旅 10日間**



カジランガ国立公園でのエレファントサファリ（視察時撮影）

ツアープランナーより

未だ観光化が進んでおらず、素顔のインドをご覧いただけます。その中心を流れるのがブラマプトラ川です。チベット、ラサ郊外を流れるヤルツアンポ川がヒマラヤを越えてインドへと流れ、最終的にはガンジス川と一体となってベンガル湾へと注ぐインドの大河を、快適なクルーズ船で巡る夢の企画がついに実現しました。アッサムの州都グワハティから、4泊5日のクルーズで目指すは世界遺産カジランガ国立公園。「インドサイ最後の聖地」と言われるカジランガ国立公園は野生のインドサイが悠々と暮らす姿をご覧いただけます。カジランガ国立公園には2泊し、インドサイを間近にご覧いただけます。最初に訪れるスワルクチは絹の生産で知られる村。アッサムは野蚕発祥の場所でもあり、エリ蚕やムガ蚕という独特の野蚕が飼育されています。その蚕からとれるエリシルクやムガシルクは「ワイ



河畔の村の小学校も訪ねます（視察時撮影）

チベットからベンガル湾へ注ぐ未知なる大河 ブラマプトラ川をゆく

チベットからベンガル湾へと注ぐブラマプトラ。大部分をヒマラヤの急峻な大渓谷を流れるため、21世紀に入ってもその全容は明らかになっておらず、ヒマラヤの空白地帯として多くの冒険家を魅了してきました。そんな未知なる川ブラマプトラの中流域は、アッサム渓谷を悠々と流れる大河へと姿を変えます。そんな大河を舞台に魅力あるツアーを作りたいと、クルーズ船で沿岸の魅力を伝えているのが、アッサム・ベンガル・ナビゲーションというクルーズ会社です。かつてガンジス川をクルーズする旅と共に実施した縁から、今回同社の船「スカファー号」を利用し、ブラマプトラ流域の魅力に迫る4泊5日のツアーゴ用意することができました。インドのなかでも僻地にあたる地域ですが、「スカファー号」は欧米の旅行者を意識した上質なサービスが提供され、ストレスなく旅を楽しむことができます。



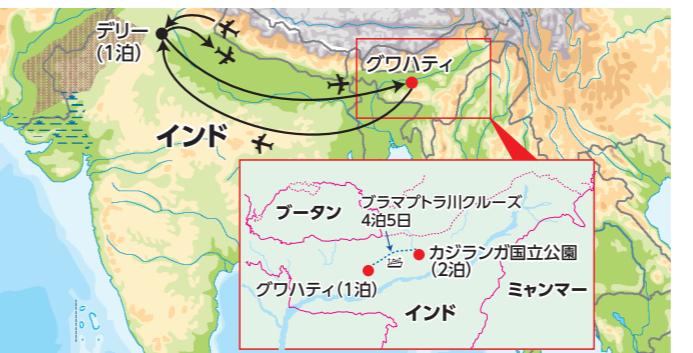
SHIP DATA
■就航:2006年 ■全長:38 m ■乗客定員:24名 ■メインデッキ:ダイニングルーム、スパ
■アッパー・デッキ:客室12室、ミーティングサロン・図書室
■客室:全室フレンチ・バルコニー、トイレ、シャワー付き ■サンデッキ:パノラマビューデッキ



客室は窓を大きくとったフレンチ・バルコニー。客室でも景色を楽しめます



スタッフのホスピタリティもハイレベル。夕食は洋食コースも選べます



スカファー号で素朴で魅力的な訪問地へ

スカファー号で訪れるブラマプトラ川流域は殆ど観光化されていない素朴な地域ばかり。素顔のインドをご覧いただけます。翌日は北東インドのヒンドゥー聖地、カマキヤ寺院へ。信仰に生きる北東インドの人々の熱気を感じる観光です。さらには素朴な河畔の村へ。学校や民家を訪問し、等身大のインドの暮らしに触れることができます。



村の学校の朝礼の様子（視察時撮影）



絹の生産が盛んなスワルクチ村（イメージ）

ツアーアを彩る様々な船内プログラム

様々な船内プログラムでクルーズを盛り上げてくれるスカファー号。アッサム伝統舞踊の見学や、民族衣装着付け体験、シェフによるインド料理体験、アッサム文化講座など、船専属のガイドやスタッフ、シェフが総出で行うプログラムはアッサムへの理解をより豊かなものにしてくれます。

食事も欧米旅行者向けに工夫されており、ランチはブッフェスタイルですが、ディナーはインド料理と洋食のコースを選べるようになっています。どちらも質の高い料理ですので、その日の気分に

合わせてお楽しみいただけます。食事もダイニングルームだけでなく、時にはアッパー・デッキで、時には中州でのバーベキュー・ディナーなど、4泊のクルーズでも味、雰囲気共に飽きさせません。



船内でのアッサム民族舞踊の様子（視察時撮影）

象の背中から間近にインドサイに迫る特別な時間

絶滅が危惧されているインドサイの、なんと世界の4分の3以上の約1900頭が生息するという、独特的な環境を持つカジランガ国立公園。今回は連泊することで東部、中部、西部と3つのサファリゾーンにご案内します。さらに早朝にはユニークな方

法で自然とふれ合います。それが、ゾウの背中に乗って園内を回る、「エレファントサファリ」です（注2）。同じ動物のゾウで近づくことで、間近でご覧いただけます。早朝のみの特別なサファリは、予備日を設けてご案内いたします。



インドサイの様子を間近にご覧いただけます（イメージ）



エレファントサファリは3名乗り（イメージ）

利用予定航空会社：日本航空、エアインディア

ツアーコード：IN055T

集合・日数・出発日	旅行代金
【羽田空港集合・10日間】 2025年12月3日（水） 2026年2月25日（水）	エコノミークラス利用 ¥798,000 ビジネスクラス利用 ¥1,148,000
（お一人でご参加のお客様は、1名室利用追加料金¥260,000にて承ります）	
ビジネスクラス利用区間：羽田空港～デリー間往復のみ適用	
燃油サーチャージ別途目安：¥19,000：5月1日現在	

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000	各支店へお問い合わせください
	福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港11:45発 デリー 18:20着	午前、羽田空港より航空機にてデリーへ。 着後、デリーのホテルにチェックイン。 (デリー泊) □機械	
2	（スワルクチ村） デリー 07:55発 → グワハティ 10:10着	朝、航空機にてグワハティへ。 着後、グワハティのパンドウ港へ。 スカファー号に乗船 します。 乗船後、船内でランチ。船は下流のスワルクチへ向けてクルーズ。 午後、絹織物の町スワルクチへ。 ○絹織物工房 を訪れます。 【4泊】（スカファー号泊）朝昼夕	
3	（カマキヤ寺院） グワハティ近郊	午前、グワハティ郊外のニーラチャルヒルへ。 北東インド屈指のヒンドゥー教寺院●カマキヤ寺院を見学 します。 午後、マヨン方面へとクルーズします。船内プログラムをお楽しみください。 (スカファー号泊) 朝昼夕	
4	マヨン近郊	午前、マヨン近郊の川沿いの村の散策にご案内します。 午後はシルガット方面へとクルーズします。 インド料理のデモンストレーションなど船内プログラムをお楽しみください。 (スカファー号泊) 朝昼夕	
5	シルガット近郊 カジランガ国立公園（西部地区ジープサファリ）	午前、シルガットへとクルーズします。 午後、 カジランガ国立公園へ 。西部地区のジープサファリにご案内します。（注1） 夕刻、船に戻ります。 (スカファー号泊) 朝昼夕	
6	スカファー号 カジランガ国立公園（東部地区ジープサファリ）	午前、4泊したスカファー号に別れを告げ、 カジランガ国立公園へ 。 観光客の少ない東部地区のジープサファリにご案内いたします。（注1） 夕刻、カジランガ国立公園の中央に位置するホテルへ。 【2泊】（カジランガ国立公園泊）朝昼夕	
7	カジランガ国立公園（エレファントサファリ） （中部地区ジープサファリ）	早朝、カジランガ国立公園中部にてエレファントサファリにご案内します。（注2） ホテルに戻り朝食後、午前はごゆっくりお過ごしください。 夕刻、中部地区的ジープサファリにご案内します。（注1） (カジランガ国立公園泊) 朝昼夕	
8	カジランガ国立公園 グワハティ	午前、ホテルをゆっくり出発し、グワハティへ。 (エレファントサファリの予備日です) 途中、 ○アッサム紅茶農園 に立ち寄ります。 夕刻、グワハティ着。 (グワハティ泊) 朝昼夕	
9	グワハティ 13:10発 → デリー 16:05着 デリー 19:55発 →	午前、● ブラマプトラバーベリテージ、○バザール にご案内します。 午後、国内線にてデリーへ。 デリーにて航空機を乗り換え、帰国の途へ。 (機中泊) 朝昼機	
10	羽田空港06:30着	朝、羽田空港に到着。着後、解散。 機□□	

*日程表の時刻は、羽田空港発着の日本航空の利用を想定したものです。他の航空会社を利用の場合は、発着空港および時刻、日程は異なります。

*ブラマプトラ川の水量や現地の状況により、クルーズ中の下船地や発着時間は変更となる場合がございます。

(注1)カジランガ国立公園のジープサファリは西部、中部、東部にそれぞれサファリエリアがございます。運送でそれぞれのサファリエリアを巡る行程としておりますが、動物の状況や路面状況等により、エリアを変更してご案内する場合もございます。予めご了承ください。

(注2)エレファントサファリの予約はゾウの保護のためアッサム州が管理しており、催行前日夜に予約の可否が決定いたします。また、荒天や公園内のサファリルートの路面状況等により中止となる場合もございます。予備日を設けておりますが、予約が取れない場合、また中止となった場合はジープサファリにご案内いたします。予めご了承ください。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食7回、夕食7回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存期間：入国時6ヶ月以上 ■パスポート査証未使用欄：2ページ以上 ■査証代実費：3,900円（2025年5月現在） ■査証取得手数料：6,600円（税込）
■査証用写真：査証用写真1枚（縦5cm×横5cm）カラーライフ、背景は白色。顔の縦（頭からあごまで）サイズが2.5～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン（肩から上）がはっきりしたもの）。 ■パスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル

- デリー：ザ・ブライド・プラザ・アエロシティ
- ブラマプトラ川クルーズ：スカファー号
- カジランガ国立公園：ボーゴス・リゾート
- グワハティ：ヴィヴァンタ・グワハティ

*いずれもシャワーのみの客室となります。

*バススタブ付き客室をご用意するよう努めていますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみの客室となる場合がございます。